

### 第3回 五ヶ丘地区教育環境検討協議会 会議録

【日 時】令和6年11月16日（土）10:00～11:40

【場 所】益富交流館 大会議室

【出席者】委員13名、事務局4名

【欠席者】委員1名

【傍聴者】0名

- 【議 事】
- 1 前回会議録の承認について
  - 2 前回協議会を受けた今後の方向性について
  - 3 今後のスケジュール（予定）

#### 【内 容】（要点）

##### 1 前回会議録の承認について

事務局 （資料に基づき説明）  
会長 承諾ということで良いか。  
各委員 （異議なし）

##### 2 前回協議会を受けた今後の方向性について

会長 前回協議会から時間もあいているため、そのあたりを含めて事務局から説明をおねがいしたい。

事務局 （資料に基づき説明）

##### 本日の協議事項

（1）協議会の最終合意として、子どもたちの教育環境を整えるために「学校再編の必要性」を議論することについて

・この段階で突然のアンケートは判断が難しく、教育環境検討協議会で改めて「現状の教育環境やこれからの新しい学校づくり」に目を向け、協議を深め、「学校再編（統合）が必要なのか」にフォーカスしていたことが大切であるため

（2）五ヶ丘地区の両小学校の現状（教育環境）について

会長 協議事項（1）についてどうか。

委員 アンケートをとって方向性を決めるという方向になっていたと思うが、学校と関係ない世代の方などは意見が出しづらい。ということで関係者のみということだと理解した。私たち PTA 役員が意見を聞いてというのは難しい。学校に携わる一部の方たちに対しては、こういった議論がされていることを伝えて、意見集約して傾向をつかんで方向性を議論すべきだと考える。

委員 前回どうするかという方向性決めたと思っていたが、アンケートがなくなったとすると、この協議会だけで決めるのか。いつまで検討するのか。

事務局 具体的に期限は決まっていない。

委員 関係者だけで決めていく、というイメージを持った。議論の柱をつくらないとアンケートをやってもということだと感じた。関係者だけで決めて突き進んでいくという話だとよくないのでは。すぐに方法論は提示できないが、教育に対しては高齢者はあまり意見は言えないと思う。小学校、幼稚園の保護者の意見をどうやって聞くのか。今関わっている自分たちの意見も大事だが、どちらかという、これから関わる方たちの意見の方が大切ではないか。

事務局 これからの方の意見を吸い上げていくのが重要だというご意見。こども園の保護者のみなさんの学校への関心はいかがか。

委員 前回保護者の意見としてまとめて出した中にもあったが、保護者の当事者意識がない。前回の協議会で示された令和5年度のアンケートは統合につながるものだったという意識がなく、根拠として使用するには印象操作に思えた。当事者に対して、もっと具体的な内容を明記したアンケートを取ってそのデータを基に方向性を決めていく、ということで前回決まったと思う。われわれだけで決めていいのかという不安もある。

事務局 統合の賛否を先に問うのではなく、未来の社会を想定して、目指す子どもの教育環境とはどういうものなのかをしっかりと考えるべきだと考える。

委員 教育委員会としては、このままでは適切な環境を維持できないと判断しているということか。

事務局 将来どういった能力が必要で、その能力を育むためにどういった教育環境が必要なのかということを議論していただきたい。

委員 5ページ目の再編の必要性が合意された場合。という「合意」というのはどこの誰の合意なのか。

事務局 この協議会での合意と考えている。

委員 この協議会で話した結果のみで、合意とする。という意味なのか、その合意を取る方法をこれから話し合うことかを確認したい。合意に至るまでの方法をこれから話し合っていくということか。

事務局 どういった方法で合意までいたるのかを、これから話していくという認識。

事務局 保護者の皆さんは、自分たちだけでは判断できないから、他の保護者のみなさんの意見を聞く場が欲しいと感じているということか。

委員 自分たちの思っていることは昔の話、古い価値観という認識があるため、ここのだけで決めるというのが本当にいいのか、不安がある。考え方の方向性をまとめた後にアンケートなどで確認をとるか。もしくは、アンケートを先にとって材料を集めて、方向性を決めるのか。どちらの方法がいいのか。ということかと思う。それらなしにここだけで決めるのは嫌だな、という感覚。

事務局 協議会の議論の間に過程が必要ということか。

委員 関係者に「このメンバーでこういったことを検討します」と知らせて、委任を受けているのであれば、責任をもって考えるが、現在はそういった担保もない。

委員 ここだけのメンバーだけで決めてしまうと、あとで何か言われる可能性はある。説明会などをした上で、皆さんがどう思っているか、アンケートをとって、住民がどういった意見を持っているかを判断する。アンケートを集計して最終的に協議会で判断するがよろしいかという合意、確認をとって進めたいということか。

委員                    そういうことならいい。

委員                    一つ目は地域に周知する機会をつくる。もう一つは、統合の必要性や反対の方の理由など。この2点を分けて考えないとなかなか進まない。説明会の中で、こういうメンバーで考えてきた。ということを知っていただいて、最終的にはこのメンバーで決定していくことでいいか。という流れができてくるとよい。アンケートを先に聞いて、流れを作っていく。ということもあるが、今ある資料を基に、みなさんに「これからの子どもたちの学びを考えていく」という方向性でもいいと思う。

委員                    教育委員会は基本的には必要性についてまとめたい。ということかと思う。区長会でもその時代の保護者の声も聴いて2年前に要望書を出した。必要だということを今のメンバーでまた検討している。この流れでいくと2、3年かかってしまう。3～5年かかってしまうと子どもは卒業してしまう。もう少しスピード感をもってやらないと、どんどん先送りになってしまう。最初の資料で最速のゴールで令和9年度が示されていた。豊田市で初めてのことを取り組んでいこうと思うとさらに時間がかかる可能性がある。担当者も現場の先生も保護者も替わってしまう。時間をかけすぎるとまた仕切り直しになってしまう。

数の問題になると絶対反対の人は出てくる。100%賛成というのは難しい。そこをどうやって進めていくのかというと、情報を積極的に出していかないとけない。スピード感をもってやっていきたい。

委員                    教育委員会は魅力あるものを入れてくれている。年度内くらいに住民説明会、結論を出すようなスピード感が欲しい。

委員                    丁寧にするのはいいが、1年経つとメンバーがまた変わってしまう。ここまで魅力的な提案を教育委員会も出してきてくれている。ここにいる人はある程度必要性について共通認識はあると思っている。

委員                    スケジュール感が欲しい。いつまでに何を決めるのか。統合賛成となった場合に、委任いただき、具体的な協議を進めていくと思うが、その場合も通常任期は1年くらいかと思う。

委員                    私の主観も入っているが、今現状、問題視していない。全クラス5人10人レベルであれば、危機感があると思う。周りの方は、必要性はないと感じている。

委員                    令和4年度のときは、周りの保護者からの声が多かったということでなく、一人の区長さんの声でポツと出て要望書の提出になったと聞いた。周りの保護者に困っている、統合したいという声は全然聞かない。

委員                    教育環境についてしっかり協議していただきたい、という趣旨の要望書を出した。

委員                    教育環境についてよくしていきましょう。ということに賛成が多かった。その中の一つに再編があった。

委員                    結果的に再編。という話だった。

委員                    この資料の新しい魅力ある五ヶ丘の学校のイメージというのは、合併したら、ということか。

事務局                合併する場合には、こういうイメージが考えられるということ。

委員                    子どもたちのことを第1に考えてということだが、合併による心身へのストレスを感じてまで合併する必要がない。その説明を前回求めたと思う。

事務局 委員 そういったことも含めてみなさんの課題感を話していきたい。

メリット、デメリットを説明いただいても、PTA の役員は単年度となる。せっかく状況を理解しても来年度また変わってしまう。アンケートはできないのであれば、ここのメンバーを各学校でまた選んでいただくなどしなければ、責任もってできない。このままだと何も決まらないまま、進んでしまう気がする。PTA 会長は6年生の保護者。各学校で話し合って代表者を決めてもらうなど、仕組づくりが必要ではないか。

委員 充て職ではなく、継続できる方向がよい。

事務局 まちづくりの協議会も立ち上げる予定があるので、そこと合同にするという考え方もあるかと思う。次年度のメンバーをお願いする場合、いつ頃までというのはあるか。

委員 実は五ヶ丘東小学校の役員は、来週選考会がある。

委員 五ヶ丘小学校は来年度の役員がすでに決まった。

委員 周知についてだが、自治区から回覧で周知しているが、誰も読んでくれない。アンケートをやってもあまり意見は出てこないことが予想される。意見を持ってるけど書いてくれない。私個人も小学校4年生のときに学校が統合された経験がある。なにも民主的なことはなかった。子どもたちの声を聞かれることもなかった。

事務局 令和11年度には、1学年8人というタイミングがくる。実は1クラス20人程度というのは教員も子どもも快適だという声はあるが、1クラス一桁の人数になってくると、問題が出てくることが予想される。

委員 問題が出てきてから動いては遅い。今くらいから動かなければ。しかも教育委員会が魅力的な提案をしてくれている。また、快適ということと問題がないということは違うのではないか。

委員 子どもに聞くと環境が変わるのは嫌だと言っている。

委員 娘は、お友達が増えるからいいと言っている。現状6年生女子8人という状況で、競争性は失われている。徒競走も5年生と合同だから勝ってもうれしくない。

事務局 性別の偏りにより異性との関わり方がわからず、中学校に入って困る場合もある。また、先生との距離感なども問題があったりする。

委員 説明会をしてアンケートをとると良いと思う。今アンケートをとっても、私としても、正直どちらでも良いと考えている。小学校の現状がわからない。私も他県出身で1クラス12名の小規模校だったが悪いという印象はない。まず、説明会を開いて、今後8人になることを示して、「これから」のことを考えていけばいい。説明会を聞いて、アンケートをとるという流れが良いと思う。過去の話をしていても仕方がない。今からどうするかという話をしていくと良い。

事務局 このメンバーで議論するにあたって、説明会を実施して、説明会の参加者に対してアンケートをとるということではいかがか。

委員 参加できなかった方に対して動画などでも対応いただきたい。

事務局 動画対応はする予定。内容の説明は事務局で行うが、地域住民からの委任という面からも、協議会主催でお願いしたい。説明内容は、児童数が現実的に減っていくことや魅力的な学校イメージ案などについて説明し、再編することはどうかと問う。どちらの学校に合併ということは話さない。

委員 協議会主催ということは、協議会としては再編していくという方向で話すのか。  
事務局 それはまだないが、「再編することを地域の皆さんに聞く」ことについて協議会として合意いただきたい。

委員 情報提供して、意見を聞くという流れと、次どういう方が協議会メンバーになるのか、確認をしておく。  
事務局 来年1月の協議会で、説明会の内容について確認いただき、年度内に説明会ができればと考えている。

委員 賛成が決まってから、新しい魅力ある学校について具体的には進むということか。賛成か賛成ではないかを早く決めないと何も進んでいかないということか。  
事務局 そのとおり。

委員 教育委員会としては、統合したいのか。  
事務局 そう考えている。子どもたちの環境を考えると、将来1クラス8人、11人といった数字が見えてくると、もう少し児童数を増やしてクラス替えができる2クラス程度にしたいと考えている。先生方へのアンケートでも9割以上が「2クラス」が良いということは出ていて、教育委員会としてもクラス替えできるメリットは大きいと考えている。

委員 統合する方向を示して、賛成反対を聞けば良いのではないのか。ここは、統合するかどうかを決める会議ではないということではいいか。  
事務局 本日は、再編の必要性をこの協議会で決めるためにどうするかという議論だった。一つの方法として、この協議会以外の住民の意見を聞くということになった。

委員 教育環境を考えるよりも、合併をするかの賛否を聞けば良い。  
委員 再編するなら再編すると決めてもらった方が、保護者はやりやすい。  
事務局 話が戻ってしまったが、説明会とこの協議会の在り方については、説明会では、再編場所は示していかないということをご理解いただけたと思っている。再編に向けてどのように説明していくかを市で検討した後、次回提示したい。

委員 説明会の際に、キッズスペース、授乳室をぜひ用意していただきたい。  
委員 統合に関する賛否については今までも話してきている。そのあたりも説明してほしい。何も進まない。教育委員会は統合していかないといけないと思っているという姿勢を出して説明をした方が良い。過半数を超えたら、もうやっていきましょう、としないと進まない。

委員 今アンケートとっても反対が多いと思うが、5年後1桁になってしまうことをしっかり説明していただいて、その時話し合っても遅いということを伝える。今の子どももそうだが、それ以降の課題感を理解していただくことが重要だと感じる。

委員 統合する場合は、場所は決まっていないという説明を入れてほしい。まちづくりミーティングは本協議会に関係があるか。  
委員 このミーティングで直接は関係してこない。五ヶ丘浄化センターの跡地やサッカー場が廃止された後のこと、それに加えて学校再編も含めて、五ヶ丘のまちづくり全体について話し合うきっかけとなる会であり、皆さんで考えましょうというきっかけづくりの会。ぜひ参加していただきたい。

委員 牧野先生に五ヶ丘地区を案内した。具体的な話も少ししてくれていた。  
委員 今、市が積極的に関わってくれているのは良い機会。

委員 学校に様々な人が入ってくるのは、どういうメリットがあるのか。  
事務局 学校教育に地域の方が関わることは人数が減っていく中では大事なポイント。  
委員 保護者は怖いと感じる。  
委員 防犯面は大丈夫か。  
事務局 地域全体で学校を見ていく。多くの地域の人が見守ることや、学校の先生と友達以外に地域の方が入り、児童生徒が多様な人と関わる機会を持つことは今後重要となってくると考えている。

### 3 今後のスケジュール（予定）

事務局 1月の第4回協議会に向け、大きく2点「説明会の開催内容」「協議会の体制」について御協議をいただくため、検討の上、事前に資料を送付する。  
また、説明会について、別途日程調整などを送らせていただく。  
(以上 閉会)